

Victory

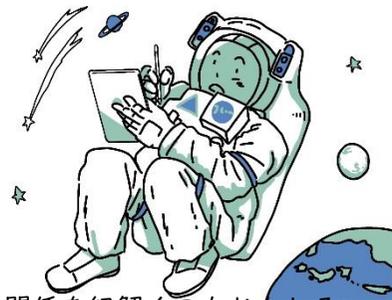
NO.7

令和6年10月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館

*学校HP> 学校図書館> #図書館の日常随時更新中

先日のスーパームーンは今年最も地球に接近した満月だっただけに、宮崎では天気が悪く見ることができず残念でした。ですが、この後もしばらくは天体ショーが楽しめそうです。惑星との接近や、彗星（紫金山・アトラス彗星）の動きなど、興味は尽きません。



日本人は古来より月を愛でる様々な風習を持っています。人文社会学の分野の観点から月との関係を紐解くのもおもしろいでしょうし、自然科学や技術工学の分野から天体物理学(宇宙物理学)さらには宇宙の未来を見据えた宇宙工学研究等に着眼することも然りです。

この3月の卒業生にも宇宙工学(航空工学)関連に小さい頃から興味を持ち続け、実現に向けてその専門分野の大学に進んだ先輩がいます。彼は、超小型ロケット開発に携わりたいこと、今問題になってきている宇宙デブリを回収できたら…という話をしてくれました。そのための研究を深めるための学部学科はもちろん、教授の研究等にも着目していました。具体的な目標から逆算して歩むプロセスをデザインできている例だと思います。(情報収集支援の際に、図書館としてとても勉強になった例でした、感謝)

そういえば、今から17年前に宇宙飛行士毛利衛氏が附属中開校記念講演会の講師として来校されています。

近い将来、本校卒業生の中から宇宙で活躍する人材が出てくるかもしれません。

ところで、天文・宇宙に興味のある人は知っているかもしれませんが、いい機会なので、いくつか天文関連WEBサイトを紹介します。個人的には、なんとなく夜空を眺めるのが好きという部類なのですが、このサイトはそんな素人にもわかりやすい情報が満載です。しばし、宇宙に身を投じてみませんか。

【ご報告】

朝陽祭古本市の売上を10/4に令和6年度台風10号
災害義援金(¥21,100)と、10/11に公益財団法人宮
崎県視覚障害者福祉協会(¥20,000)へ寄附しました。

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます

このたびは 当協会へ貴重なご厚志をいただきまして 心から御礼申し上げます

今回いただきましたご厚志は 本県の視覚障害者福祉のために有効に活用させていただきます所存でございます

宮崎県立宮崎西高等学校の皆さま 並びに 関係各位の益々のご健勝とご発展をお祈り申し上げ お礼の言葉いたします

敬白

令和6年10月吉日

宮崎県立宮崎西高等学校
図書委員会 様

公益財団法人宮崎県視覚障害者福祉協会
理事長 小島 義久



宮崎県視覚障害者福祉協会の理事長の
小島義久様が本校図書館まで来校頂き、
図書委員長の菅瀬乃愛さんと副委員長の
熊須圭代さんが寄付金を贈呈しました。

平成6年度台風10号災害義援金は、宮崎銀行特設窓口より振り込みました。

天文・宇宙科学関連WEBサイトQRコード

国立天文台
(NAO)



星を見る・宇宙を知る・
天文を楽しむ AstroArts



日本天文学会
天文学辞典



JAXA
宇宙科学研究所





扉を開こう、新たな世界が君を待っている

～KVIS 国際交流イベント関連展示企画～

10月23日（水）から26日（土）にタイから3名の生徒が文化交流・授業体験に来ます。同じアジアの国・タイについて知るいい機会です。

SSHの取組とコラボして、タイに関する資料や民族衣装と日本の伝統行事で使われる玩具を展示するコーナーを図書館内と管理棟1階に設置しました。

今回展示している民族衣装は、JICA九州事務局から借りています。タイを通して自国日本のことを再認識する機会でもあります。



↑管理棟1階



↑図書館カウンター横

秋の読書週間が始まります。



期間：10月27日～11月9日

「読書週間」とは…

終戦の2年後の1947年（昭和22年）、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意をひとつに、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミ機関の協力のもとに、第1回「読書週間」が開催されました。

第1回の「読書週間」は11月17日から23日。これは11月16日から1週間にわたって開かれるアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」にならったものです。各地で講演会や図書に関する展示会が開かれ、その反響は大きなものでした。「一週間では惜しい」との声を受け、現在の10月27日から11月9日（文化の日をばさんで2週間）となったのは、第2回からです。

それから約80年、「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民」の国となりました。その一方、物質生活の豊かさに比べ精神生活の低迷が問題視されている昨今、論理的思考の基礎となる読書の重要性は、ますます高まってきています。

本年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりの読書への関心と、読書習慣の確立の契機となることを願ってやみません。

（文責：公益財団法人読書推進運動協議会 HP より）



第9回宮崎県高等学校ビブリオバトル大会紹介本一覧

10月12日（土）に実施された大会で紹介された13冊の本です。全国秋の読書週間も始まります。何かおもしろい本はないかな？と探しているあなた、この機会に読んでみませんか。

- * 『推し、燃ゆ』 宇佐見りん（河出書房新社）
- * 『N』 道尾秀介（集英社）
- * 『ラブリカは静かに弓を持つ』 安壇美緒（集英社）
- * 『オール』 山田悠介（KADOKAWA）
- * 『流浪の月』 凧良ゆう（東京創元社）
- * 『パプリカ』 筒井康隆（新潮社）
- * 『宙わたる教室』 伊予原新（文藝春秋）
- * 『世界の中心で、愛を叫ぶ』 片山恭一（小学館）

* 『アンドロイドは電気羊の夢を見るか？』 フィリップ・K・ディック
（早川書房）

* 『博士の愛した数式』 小川洋子（新潮社）

* 『ゴールデンスランバー』 伊坂幸太郎（新潮社）

* 『ライオンのおやつ』 小川糸（ポプラ社）

* 『コンプレックス』 クノタチオ（サンマーク出版）

◎なお、今回のチャンプ本は『N』道尾秀介著でした。